

宮城県感染症発生動向調査情報

- 2019.2.11～2019.2.17 - 第7週 -

平成31年2月21日発行

1. 集計

上段は患者発生数, 下段は定点当たり

疾 病	保 健 所							仙 台 市 患者数	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第4週	第5週	第6週	第7週
水痘		6 0.60	2 0.40				5 1.00	9 0.33	22 0.37	252	○	レ	○	レ
流行性耳下腺炎		1 0.10						2 0.07	3 0.05	23				
感染性胃腸炎	36 7.20	27 2.70	16 3.20	18 9.00	5 1.67	17 3.40		149 5.52	268 4.54	1,923	◎	◎	◎	◎
手足口病		1 0.10				1 0.20		1 0.04	3 0.05	54				
伝染性紅斑	10 2.00	24 2.40	4 0.80		4 1.33	9 1.80	5 2.50	47 1.74	103 1.75	1,406	◎	◎	◎	◎
突発性発しん	1 0.20	2 0.20	1 0.20	1 0.50	2 0.67	1 0.20		8 0.30	16 0.27	136			○	レ
ヘルパンギーナ			1 0.20						1 0.02	4				
インフルエンザ	199 24.88	197 13.13	162 20.25	31 10.33	87 17.40	150 18.75	39 9.75	607 13.80	1,472 15.49	24,648	◎	◎	◎	◎
咽頭結膜熱	1 0.20	2 0.20		2 1.00		1 0.20		7 0.26	13 0.22	97				
流行性角結膜炎		1 0.33							1 0.08	22				
急性出血性結膜炎									0 0.00	1				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	26 5.20	20 2.00	9 1.80	5 2.50	5 1.67	41 8.20	1 0.50	34 1.26	141 2.39	1,180	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	0				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎				3 3.00					3 0.25	35				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	4 0.80	1 0.10	4 0.80	3 1.50	3 1.00	2 0.40		14 0.52	31 0.53	193	○	○	レ	○
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	1				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		1	1					2					
	川崎病								1					
	不明発しん症	1							3					

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 32例

2. 全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核(患者(確定例))
- 石巻管内 女性1名(第6週)
 - 塩釜管内 男性1名(第6週)、男性2名
 - 仙台管内 女性1名
- 結核(無症状病原体保有者)
- 塩釜管内 男性1名(第5週)、男性1名
 - 仙台管内 女性1名、女児1名*
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O91)
- 仙台管内 女性1名
- 4類感染症: レジオネラ症
- 石巻管内 男性1名
 - 塩釜管内 男性1名
 - 仙台管内 男性1名
- 5類感染症: 後天性免疫不全症候群
- 仙台管内 男性1名(第6週)、男性1名
- 梅毒
- 塩釜管内 男性1名(第6週)
 - 仙台管内 男性1名
- 百日咳
- 仙台管内 男児1名*

※男児、女児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

- [伝染性紅斑]
仙南、塩釜、気仙沼、仙台管内で警報レベルを継続中です。
- [インフルエンザ]
仙南、塩釜、大崎、栗原、登米、石巻、仙台管内で警報レベルを継続中です。
- [A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]
仙南、石巻管内で警報レベルを継続中です。
- [水痘]
石巻管内で注意報レベルを超えました。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

インフルエンザ患者より
石巻管内 第6週採取分 インフルエンザウイルスAH1pdm09 2件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定 報 告		
	第4週採取分 (1.21～1.27)	第5週採取分 (1.28～2.3)	第6週採取分 (2.4～2.10)
インフルエンザウイルスA(H1)pdm09	8件	8件	3件
インフルエンザウイルスA(H3)★	14件	12件	7件
RSウイルス	0件	1件	0件
アデノウイルス	2件	0件	0件

★インフルエンザウイルスA(H3)は、血球凝集性が非常に低く、型同定が難しい状況です。そのためA(H3)は、第2週検体より、免疫学的にA型が確認され、かつ血球凝集が陰性の検体を、暫定的にA(H3)と報告しています。

【インフルエンザ】

患者報告数は、第4週のピークの6,632人から1,472人と大きく減少しましたが、気仙沼を除く7保健所管内では警報レベルを超えています。今流行は継続していますので、帰宅時の手洗いの徹底、マスクの着用、加湿器の使用など、引き続き感染予防に努めましょう。急な発熱、悪寒などインフルエンザ感染が疑われる症状がある場合は、早期に医療機関を受診して下さい。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)
電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362
HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

